

— あなたの隣の「帰国者」のことを 知っていますか？ —

参加
無料！

「帰国者」…日本へ永住帰国した残留邦人のことをいいます



語り部講話の様子

2024年9月14日(土)

14:00-16:00 (開場 13:30~)

〈会場〉 首都圏中国帰国者支援・交流センター
カーニープレイス新御徒町 6階
(東京都台東区東上野 1-2-13)

※要事前申し込み

〈お申し込み〉 <https://forms.gle/B2rNgmjo46fGeqJS9>

TEL: 03-5807-3171 (9:30-17:45 月祝休館)

2025年3月にも当センターにて語り部講話会を開催予定



【残留孤児として中国社会を生き抜く】

語り部 高野 好美

逃避行の中、目の前で家族を亡くした7歳の少年は、中国人に引き取られる。戦後も政治的激動が続く中国社会で、日本人として生き抜くには数々の困難を回避する「生きる力」が必要だった。それは、帰国後も言えることだった。

戦後世代の語り部とは

首都圏中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託）が、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です。

アクセス
マップ

都営新御徒町駅より徒歩1分
JR 御徒町駅北口より徒歩13分
日比谷線仲御徒町駅、銀座線稲荷町駅より徒歩6分



【7歳の逃避行～命を繋いだ3人の恩人～】

語り部 大輪 香菊

東京大空襲で焼け出された一家は満洲に渡る。1945年8月、逃避行中に全ての家族を失った7歳の少年は、たった一人で命懸けの逃避行を行う。中国人に引き取られた後も厳しい中国社会を生き抜き1985年に帰国。80歳を超えた今、何を思うのか？

主催：首都圏中国帰国者支援・交流センター

◆問い合わせ◆ 電話：03-5807-3171(9:30-17:45 月祝休館) メール：kataribe@sien-center.or.jp